



## 美郷町立西郷義務教育学校「ひなた場」に参加して

宮崎県キャリア教育コーディネーター 西立野 康弘



10月13日(水)、西郷義務教育学校での「ひなた場(宮崎県版対話型キャリア教育プログラム)」に参加させていただきました。「ひなた場」のキーワードは「対話」、対話のテーマは「生き方(これまでとこれから)」、対話のツールは「人生グラフ」と「人生紙芝居」です。

また、「ひなた場」の目的は、①日常生活を立ち止まり、自分自身と向き合い、これからどうなりたいかを考える。②自分の憧れのロールモデル(理想にしたい先輩等)を見つける。③気軽に相談できる地域の先輩との関係を作る、です。

今回のひなた場には、義務教育学校の7~9年生と地域の先輩等(社会人)十数名が参加して実施されました。社会人の先輩1名と生徒3名で一つの班を作り、各自作成してきた「人生グラフ」をもとに前半はグループ対話。私も班の社会人先輩として自分のこれまでの六十数年の人生について、人生グラフを用いて熱く(?)語りました。後半は、社会人と生徒との1対1の対話を3回実施(班の他の生徒は人生紙芝居に参加)。班の生徒3名も、各自これまでとこれからの生き方や目標等を前向きに語ってくれました。最後に、今日のひなた場を振り返り、各自の変化や成長を記録して終わりました。

参加した生徒の事前・事後アンケートでは、「自分にはいくつかいいところがあると思う」が平均値で2.8⇒3.2に上昇する等、ほとんどの項目で前向きな上昇がみられました。

これを機に、この「ひなた場」の取組が県内でさらに広まることを期待します。又、午後からは令和3年度「中山間エリア会議(キャリア教育推進セミナー)」が開催され、水永氏講話「地域と学校がつながる人づくり・地域づくり」や参加者全員でのグループトークがあり盛況のうちに終了いたしました。

## 「14歳のよのなか挑戦」での気づき

旭建設株式会社 総務部長 佐藤 寛



社会体験学習「14歳のよのなか挑戦」体験後の中学生が書いた感想文で「たくさんのことを教えてもらい、色々なことに気づけて楽しかったです」と書いてあり、学ぶことの大切さ、気づくことの大切さを、私自身が改めて考えさせられました。受け入れ企業としてプログラムを計画する中で、企業として中学生に何を伝えるかを考えながら計画しましたが、事前研修会で発表されていた「学校側のねらい」について、受け入れ企業としてもっと理解を深める必要があると感じました。

職業を体験することも大事ですが、体験した後に中学生が何に「気づく」のか、学校や企業は何に「気づかせたい」のか認識を合わせることが重要だと思います。このように学校と企業の考え方の共有を図った上で職業体験を実施することが、中学生の「気づき」をより引き出せると考えています。

今後も日向市のキャリア教育や地域貢献活動を通して、大人も子供も含めて何かに「気づく」活動ができればと考えております。

## 「地域の資源として」

認定こども園伊勢ヶ浜保育園 園長 青木 雅矢



先日、日向中学校社会体験学習「14歳のよのなか挑戦」として4名の学生を受け入れました。4名とも皆明朗活発で自分の考えを臆することなく発する事が出来る素晴らしい学生でした。その点はコミュニケーション力を高めるためにも重要な事だと思い、その大切さを伝え、「同じ成績なら、明るい人を採用するよ」と話したところ、学生は大変驚いていました。明るい事、意見を言える事が大切であるという価値観はまだ持っていなかったようです。園の職員が「あなたは明るい人と暗い人、どちらと一緒に仕事がしたい?」と尋ねると4名とも「明るい人です」と答えていました。

時代は我々大人の想像以上の速さで移り変わり、子どもたちがこれから生きていく社会は多くの職業がAIにより行われるようになっていくでしょう。そのような社会で生きていく為には、コミュニケーション力やレジリエンス(しなやかな心)等が大切になっていき、教科書だけの学びでは足りなくなっていくのだと思います。だからこそ、このような社会体験学習の重要性が高まっているのではないのでしょうか。

今回の「14歳のよのなか挑戦」によって、我々は自身が伝えていく事が出来る新たな価値に気づくことが出来ました。「14歳のよのなか挑戦協力事業所の会」主催の研修会だけでなく、我々自身の経験を積み重ねていくことで、更により良い「地域の資源」となり、学校と協力し、子どもたちの学びを支え続けて行きたいと思っております。

「14歳のよのなか挑戦協力事業所の会」との繋がりがから多くの事を学ばせていただいております。今後ともご指導賜りますようよろしくお願い致します。



日向市キャリア教育支援センターHP  
WEBサイト



※ブログ等の閲覧はこちらから  
お入りください。



## 東郷学園が「よのなか教室」 を行いました！

東郷学園では計画していた8年生の「14歳のよのなか挑戦」課題探求型社会体験学習がコロナ感染症の関係で実施できなかったため、社会人講話「よのなか教室」を11月19日(金)に開催しました。

講師には「FMひょうがパーソナリティ」の川越 博さん、同じく山本恵子さんをお招きお話しいただきましたが、お二人とも軽快なトークで生徒たちを引き付けていました。

川越さんは東郷町の出身でもあり中学生の時に生徒会長も務めていた話や、「好き」になったことが仕事につながったことなどユーモアを交えてお話しされました。



川越さんの講話の様子

山本さんは「押さえておきたい面接の基本マナー」と題して、これから望む高校入試から就職等の面接において大事なポイントを、ご自分の経験の中で感じたことなども含めお話しされていました。



山本さんの講話の様子

お二人のお話しは生徒たちにとっても大変有意義な時間となったようです。講師のお二人には有難うございました。

## 日向中学校「14歳のよのなか挑戦」 課題探求型社会体験学習実地

日向中学校では令和3年10月5日(火)から10月7日(木)の3日間にかけて表題の体験学習を実施しました。対象者は中学2年生102名で日向市内の27の協力事業者の会に受け入れていただきました。

初日には各事業所でのオリエンテーションを行い、最終日には3日間の「ふりかえりの時間」を設けていただくなど、生徒たちの感想や意見をお聞きいただきアドバイスもいただきました。子供たちにとっては大変貴重な実りのある体験になったと思います。

今回、各事業所の皆様方にはコロナ感染症の心配もある中、またお忙しい中にご協力をいただきまして誠にありがとうございました。



## 日向商工会議所 Topics

### 日向商工会議所「女性会」による キャンドルナイト開催

令和3年11月6日(土)、日向市駅前交流広場にて「100万人のキャンドルナイト～ひょうがの灯り2021」を開催しました。コロナ禍の為、ステージイベントや飲食販売等を行わず、本来ならば小中学生の参加もあるのですが、今回は小規模にて女性会会員(会長 黒木絹子さん)を中心に実施いたしました。

当日は廃油やペットボトルを再利用して製作したキャンドル約1,000個に火を灯しました。温かい光に包まれた空間で、新型コロナウイルスの更なる収束を願いました。来年は以前のように市民の皆様楽しんでもらえるようなイベントにできればと思います。

日向商工会議所 脇 楓花

